



集落支援員 じゅっちゃんの ALOHA! 五城目町。

Aloha! 集落支援員の八嶋美恵子（じゅっちゃん）です。

今年度はお陰様で1歳の息子が元気に保育園に通ってくれているお陰で、少しずつ行動範囲を広げることができており、新しい出会いや気づき、学びを得ることが楽しみです。

さて、実はこのコラムも、今月で丸3年目。わたしや集落支援員というお仕事をご存じない方も沢山いらっしゃると思いますので、改めて自己紹介をさせていただきます。

わたしは大学、大学院と「本来のその人らしさが輝くようなシステムや関わり方とは」という視点から社会福祉学を学んできたこともあり、21年春に五城目町に結婚と同時に移住し、翌22年春にまちづくり課から委託いただいて五城目町全域担当の「集落支援員」の活動をしてきました。

集落支援員は、総務省の支援を受けて、全国各自治体に配置可能な役職です。具体的には「地域で誰もが心地よく（暮らし続けられる力）の向上のために」「町に出て町民の方との関わり合いのなかで気づきを得て、それを元に話し合いをし、必要な

施策を講じる」仕事。

活動は多岐にわたりますが、わたしが一番大切にしていることは、誰一人同じ人はいない、という認識のもと、異なる意見を持つ方との対話を諦めないことです。同じ五城目町に住んでいても、地域柄やそれぞれの人生経験などによって、価値観も異なるのが当然ですね。

だからこそ、とことんお話を伺い、お互いを分かり合うことが大切だと感じています。

町内にはみなさんが「自分らしく」いられる場が多数ありますが、その1つとして運営している「貸し棚おうみや」（下町234-3）を町内会（長町）の集まりに活用いただいた際の様子です。非営利活動であれば、利用料をいただかずにお使いいただけます。

どんな場所でも、お友だちとお茶っこをするだけでも、それが「自分らしく」いられる場所になりますよね。そんなあなたの「心地よい時間や場所」についても是非教えていただけると嬉しいです。



五城目高校のわだいを定期的にお届けします!



避難訓練で命を守る行動を学ぶ

5月29日、五城目町消防署の協力を得て避難訓練を行いました。今回は、震度6強の地震が発生しその後ボイラー室で火災が起きたという想定で、町消防署員の指導のもと、避難行動や消火器の使用を学びました。

避難訓練を終えた生徒のコメント

●田中□□（2年）

小学校の時も消火訓練を行いました。今回は水消火器が重く感じ水噴射の反動が手に伝わってきました。火の根元に向かって水を噴射することが大切であることを学びました。

●小武□□（1年）

小さい炎でしたがとても熱く感じました。実際の火事で消火器を使うことが不安だったので今日の訓練はとても役に立ちました。全員が真剣に訓練に参加したので素速く避難することができました。実際に地震や火事があったときも、素速く真剣に行動したいと思います。



全校生徒が生徒玄関前ロータリーに避難



消火器の使用を体験

今後の予定

- 7月5日(金)～7日(日) 県民体育大会（バスケットボール）
- 7日(日)～19日(金) 全国高校野球選手権秋田大会（甲子園予選）
- 15日(月) 県民体育大会（弓道）
- 22日(月) 夏季休業（8月20日(火)まで）
夏季講習（7月24日(水)まで）
- 26日(金) 中学生体験入学

五城目高校ホームページ：http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/



校内の道場で3年間練習を積み、今年の中央支部総体で見事優勝を果たした□□□さん。

自宅の近所に永澤弓具店があったことから弓道に興味を持ち、五城目高校弓道部に入部した□□□さん。矢が的に当たった時の音や爽快感に惹かれ、少ない部員数ながらも一生懸命練習に励んできました。

集中力が勝敗に大きく影響する弓道。□□□さんは、一つのことに意識を向けて没頭できる自身の性格が弓道に生きてると話します。今年は全部員数が4人に減り、団体戦への出場は叶いませんでしたが、常に互いを信頼し合える良いチームだったと語ります。

□□□さんが印象に残っている試合として挙げ

輝け！五城目びと
23
持ち前の集中力で
勝利を掴む！

島山

はたけやま

□□□さん

（五城目高等学校3年）

たのが、今年5月に行われた中央支部総体。個人戦で県内の各高校との戦いに競り勝ち、優勝を飾りました。□□□さんは、「コーチの指導を守り、普段から実践を心がけて集中して練習に取り組んできたことが勝因だと思います」と振り返ります。その後開催された全県総体では、予選2回戦で敗退となってしまったものの、卒業後も町内の弓道場で練習を積みたいと話します。

□□□さんは、「3年生が引退して、現在、五高弓道部は部員がいない状態です。少しでも興味のある方は、ぜひ弓道部に入ってほしいです」と話していました。

7月は“社会を明るくする運動”強調月間です ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

秋田県推進委員会、五城目町推進委員会

行動目標

- ①犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう
- ②犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう
- ③これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう

重点事項

- 「立ち直りを支える取り組みについての理解促進」
- 「就労・住居などの生活基盤づくりにつながる取り組みの推進」
- 「非行少年などが学びを継続できる環境をつくること」

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

7月7日(日)午前10時から、朝市通りで保護司会、更生保護女性会などによる朝市キャンペーンを行います。



第74回「社会を明るくする運動」五城目町推進委員会 潟上湖東地区保護司会五城目ブロック